

令和3年度 第1回 幸田町総合戦略推進委員会 議事録

○日 時：令和3年8月23日（月）午前10時～11時10分

○場 所：幸田町役場4階 第3第4委員会室

○出席者：委員及びオブザーバーの計17人、町事務局等13人

○協議内容と主な意見等

「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における数値目標及び交付金事業に対する現時点での評価、並びに各種施策の取組みについて、委員から以下のようなご意見をいただきました。

- 数値目標（KPI：重要業績評価指標）に対する評価について
- ・実績値と目標値が大幅に乖離している指標については、新型コロナウイルス感染症がどの程度まで影響を及ぼしているかを慎重に判断して評価するとともに、コロナ禍でも実行できる施策を考える必要がある。
- ・目標値を達成するための具体的な戦略を立てて実践する必要がある、実績値が乖離している指標については、どのような対策を取るか明記した方が良い。
- ・菱池遊水地で行っている凧揚げイベントは今後、遊水地整備によって現状の形式でイベントが開催できないのであれば、指標を見直す必要がある。
- ・テレワーク専用の事業所を誘致し、町内の自宅や事務所で仕事ができるようにする等、町の特色を活かした新たな雇用を創出できると良い。
- ・憩の農園は、定年後の新たな活動の場として農作物を出荷している人が多いため、町内にいる農業をやりたいが方法が分からない人ともマッチングができると良い。
- ・町の特産物を道の駅で宣伝し、他市町からの来訪者を増やせると良い。
- ・空き家を公共施設に活用するのも良いが、補助金を交付して人に住んでもらえるようにすれば、人口維持につながると思う。
- ・スーパーシティ構想について、コロナ禍で生まれた新たな課題や将来的な視点が考慮されていないように感じる。

以上